

## 井原市公共交通会議（第1回） 会議概要

と き 平成23年5月12日（木）

15:30～16:20

ところ 市役所4階 大会議室1・2・3

### 1. 開 会

#### 1) 会議の成立を報告

- ・出席者 委員23名中 実出席16名 代理出席1名

#### 2) 三宅会長あいさつ

#### 3) 委員の交代について（4月1日付け）

- ・村上弘人委員→波戸岡健吾委員（中国運輸局岡山運輸支局）
- ・埴和克彦委員→鍋谷敏昭委員（岡山県備中県民局建設部）
- ・上田哲也委員→小坂真一郎委員（岡山県県民生活部県民生活交通課）

#### 4) 監査委員の交代について（4月1日付け）

- ・上田哲也委員→小坂真一郎委員（岡山県県民生活部県民生活交通課）

#### 5) 自己紹介（委員・事務局）

### 2. 協 議

#### 1) 議案第1号 平成22年度井原市公共交通会議歳入歳出決算報告について

- ・事務局説明
- ・監査報告（小坂監査委員）

（三宅会長）委員のみなさんからご質問等はないか。

質問なし

（三宅会長）報告のとおり承認してよいようであれば拍手をお願いしたい。

委員拍手

（三宅会長）議案第1号については、原案のとおり承認された。

#### 2) 議案第2号 平成23年度井原市公共交通会議予算（案）について

- ・事務局説明

（三宅会長）事務局から「岡山大学との交通まちづくり共同研究事業」について説明があったが、岡山大学の橋本委員から事業の詳細についてお話いただけないか。

（委員）いま我々は目の前の問題を何とかしたいということで、公共交通の新しい体系をつくっていかうとしている。我々が最終的にやりたいのはバスが走っていればよいということではなく、将来にわたって住みやすい環境をつくっていかうということである。そのとき公共交通がどこまでその役割を果たせるのか。公共交通以外のいろいろなことがあってはじめて生活がしやすくなるわけで、どのようにしたらこのまちが住みやすく、そして続いていくのかということを考えていく。要するに、公共交通だけの話ではなく、例えば、病院へバスに乗って行くことがよいのか、それとも往診に来てもらうことがよいのか。また、買い物はバスに乗ってスーパーまで行くことがよいのか。それとも移動販売が週に1回集落まで来ることがよいのか。ど

のようにしたら地域全体として、お金も少なく、かつ、みなさんの満足度があがることになるのかというようなことを考えたい。連携計画を3年、4年と動かしていくと、見直しという時期がくる。その際に次の計画を立てるにあたって、いまの連携計画の評価基準が必要になってくる。その評価基準となる公共交通の評価指標をつくっていかうということが今回の共同研究の内容である。その前提として、住みやすいまちづくりとは何かということを考えていきたい。

(三宅会長) 事務局から「公共交通祭りの実施」について説明があったが、交通事業者のみなさんからご意見はないか。少なからず井原市の発展に貢献してきた井笠鉄道が今年100年ということであるが、委員からご意見はないか。

(委員) 岡山県ではずっと昔にバス協会で「バス祭り」を開催したことがある。広島県ではバス協会で「バス祭り」を毎年開催していて、毎年参加している。子ども連れが多く楽しいイベントになっている。公共交通を利用促進ということで、もう一度見直してほしい。ぜひ参加させていただいてやりたいなど思っている。

(三宅会長) 他に交通事業者のみなさんでご意見はないか。

意見なし

(三宅会長) これからの取組について、委員のみなさんからご質問等はないか。

質問なし

(三宅会長) 議案第2号について、原案のとおり承認してよいようであれば拍手をお願いしたい。

委員拍手

(三宅会長) 議案第2号については、原案のとおり承認された。今後この内容で取組を進めていきたい。

### 3) 今後のスケジュールについて

・事務局説明

(三宅会長) 委員のみなさんからご質問等はないか。

質問なし

### 4) 補助金制度の改正概要について

・委員(中国運輸局岡山運輸支局)説明

## 3. 閉会

仁科副会長あいさつ